

しろいし



2017
冬
第184号

市議会だより

- 2～3P 12月定例会の概要・審議した議案
- 4P 人事・特別委員会の設置・意見書
- 5P 予算審査特別委員会
- 6P 常任委員会
- 7～12P 市政に対する一般質問(11名)
- 13P 11月臨時会
- 14P 意見交換会のお知らせ・編集後記



山田市政スタート(12月定例会：一般質問の様子)

発行／白石市議会 編集／議会広報委員会 ☎989-0292 白石市大手町1-1 ☎22-1351
<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/site/gikai/>

再生紙を使用しています。

12月定例会
一般会計補正予算など17議案を可決

平成28年12月定例会は、12月5日から12月15日までの11日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、条例等6件、予算5件の計13件でした。

定例会初日、市長の所信表明を受け、その後、すべての議案の提案理由の説明を行い、第84号議案と第85号議案の2議案は、表決の結果、全会一致で同意しました。

2日目、議案質疑が行われ、第86号議案と第87号議案の2議案は、総務産業建設常任委員会に、第92号議案から第96号議案の5議案は、予算審査特別委員会にそれぞれ審査が付託されました。第88号議案から第91号議案は、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、12月13日と14日の2日間で、11名の議員が質問を行いました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、表決の結果、条例等2議案と予算5議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案4件が追加提案され、表決の結果、全会一致で原案のとおり同意・可決しました。

同日、議員提出議案2件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

平成28年4月の法律の一部改正により、農業委員会の委員の公選制の廃止や農地利用最適化推進委員の新設など、

それぞれの定数を定める必要があることから、新たに条例を制定するものです。

◎白石市農業委員の任命において認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しないことについて

新たに任命する農業委員は、認定農業者が委員の過半数を占めることを法で定めています。しかし、本市の認定農業者は、法で定める規定数を下

回するため、認定農業者または認定農業者に準ずる者が、委員の過半数を占めることについて、議会の同意を得るものです。

◎指定管理者の指定について

白石駅東口駐車場・銚子ヶ森駐車場・白石駅東口自転車駐車場の3施設は、平成29年3月31日で指定管理の期間が終了することから、改めて指定管理者を指定するものです。

12月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第84号	市長提案 教育委員会委員の任命について	同意
第85号	市長提案 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第86号	白石市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	原案可決
第87号	白石市農業委員の任命において認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しないことについて	同意
第88号	白石市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第89号	白石市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
第90号	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第91号	指定管理者の指定について (白石駅東口駐車場・銚子ヶ森駐車場・白石駅東口自転車駐車場)	原案可決
第92号	平成28年度白石市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
第93号	平成28年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第94号	平成28年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第95号	平成28年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第96号	平成28年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第97号	副市長の選任について	同意
第98号	損害賠償に関する和解について	原案可決
第99号	白石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第100号	白石市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案	議員提案 第2号 免税軽油制度の継続を求める意見書 第3号 有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書	原案可決 原案可決 原案可決

※意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

●指定管理者となる団体
白石まちづくり株式会社

●指定の期間
平成29年4月1日から
平成32年3月31日まで

◎損害賠償に関する和解につ
いて（定例会最終日提案）

東京電力福島第一原子力発
電所事故により生じた事故被
害対策経費（平成23年度分
から平成25年度分）について、
平成27年10月20日付けで原子
力損害賠償紛争解決センター
に和解あつせんの申し立てを
していました。

平成28年12月2日付けで同
センターより、和解案の提示
を受けたことから、和解する
議案について議会の議決を求
めるものです。

●和解の相手方
東京電力ホールディングス
株式会社

●損害賠償和解金額
6千10万円

和解あつせん申立額は、申
立後に入金された金額を除く
と1億4千329万円です。

今回和解する金額は、事業
費が約90%、人件費は、放射
能対策室専従職員の給与分は
認められませんでした。が、時
間外勤務手当相当額が損害と
認められており、本市の主張
が相当の部分で認められた内
容となっております。

※和解金額の内訳は、左記の
とおりです。

	損害項目	金 額
1	旅 費 交 通 費	100,000円
2	消 耗 品 費	35,600,000円
3	水 道 光 熱 費	2,200,000円
4	修 繕 費	200,000円
5	通 信 運 搬 費	600,000円
6	委 託 費	1,600,000円
7	賃 借 料	500,000円
8	補 助 金	3,700,000円
9	人 件 費	15,600,000円
合 計		60,100,000円

予 算

◎平成28年度白石市一般会
計補正予算（第6号）

これまでの歳入歳出予算に
それぞれ3億5千686万4千円
を追加し、予算総額を177億4
千527万7千円とするもので
す。

主な内容は次のとおりで
す。

○一時預かり事業
394万4千円

○放課後児童クラブ施設整備
事業
1千181万9千円

○地籍調査事業
5千535万2千円

○公共土木施設災害復旧事業
2億5千18万1千円

◎平成28年度白石市国民健
康保険特別会計補正予算
（第3号）

歳出予算において、保険税
の過誤納還付金に300万円を追
加し、同額を予備費で減額す
るものです。

◎平成28年度白石市介護保
険特別会計補正予算
（第4号）

これまでの歳入歳出予算に
それぞれ2千5万円を追加し、
予算総額を41億3万6千円と
するものです。

地域支援事業費の各種事業
負担金を増額するものです。

◎平成28年度白石市水道事
業会計補正予算
（第2号）

収益的収入において、湯元
簡易水道の通水に伴う加入金
や手数料133万8千円を増額し、
資本的支出において、下戸沢
簡易水道施設の工事請負費182
万5千円を増額するものです。

◎平成28年度白石市下水道
事業会計補正予算
（第2号）

資本的収入において、田町
地区の雨水排水路工事に伴い、
企業債及び補助金を1千300万
円増額し、資本的支出におい
て、雨水管渠事業費を1千305
万円増額するものです。

おわび

平成28年10月31日発行の第
183号6ページ二段目の答弁内
容に、次のような誤りがあり
ました。おわびして訂正いた
します。

【正】 秋田県由利本庄市

【誤】 秋田県由利本庄市

人事

定例会において、次のとおり任命・推薦・選任すること
に同意しました。

〔教育委員会委員〕

〔任期〕平成28年12月14日
平成32年12月13日

佐藤 よし美 氏

〔人権擁護委員〕

〔任期〕平成29年4月1日
平成32年3月31日

佐藤 文比古 氏

〔副市長〕（最終日提案）

〔任期〕平成29年1月1日
平成32年12月31日

菊地 正昭 氏

特別委員会の設置

定例会最終日（12月15日）
に、スマートインターチェン
ジの設置に係る特別委員会が
設置されました。

特別委員会の名称、活動事
項及び委員は次のとおりです。

スマートインターチェン
ジ設置推進特別委員会
（8名）

- 1 スマートインターチェン
ジ設置に関すること
- 2 その他スマートインター
チェンジに関すること

委員長	四 竈 英 夫
副委員長	菅 野 恭 子
委員	保 科 善 一 郎
委員	澁 谷 政 義
委員	大 野 栄 光
委員	菊 地 忠 久
委員	松 野 久 郎
委員	志 村 新 一 郎

意見書

定例会最終日（12月15日）
に議員提案として次の意見書
が上程され、表決の結果、全
会一致で可決され、意見書は
関係機関に送付されました。

◎免税軽油制度の継続を求め
る意見書

経営環境が厳しい中、免税
軽油制度の存続は、索道事業
として最重要課題であるが、
平成30年3月末で廃止される
大変厳しい状況にある。

この制度は、道路を走らな
い機械の動力源として使用す
る軽油の取引税を免税する制
度で、船舶・鉄道・農林業な
ど幅広い事業の動力源の用途
などに認められてきた。

スキー場産業では、索道事
業者が使うグレンデ整備車・
降雪機などに使う軽油が免税
となっている。この制度が廃
止されれば、大きな負担増を
強いられ、スキー場の経営維
持が困難となるとともに、地
域経済にも計り知れない悪影

響を与えることとなる。

よって、国に対し、冬期観光
産業の重要な柱であるスキー場
産業の経営維持を図り、地元雇
用者と地域経済の安定とウィン
タースポーツの発展のために、
免税軽油制度の継続を強く求め
るものである。

◎有害鳥獣（イノシシ）駆除
対策に対する補助の増額及
び広域連携の制度化を求め
る意見書

イノシシの生息域は、拡大の
一途をたどっており、県北部ま
で広がっている。生息域の拡大
により、農作物等に深刻な打撃
を与えている。

また、イノシシの駆除頭数の
増により、駆除したイノシシを
埋設・焼却するための解体作業
等の労働力不足も懸念される。
想定をはるかに超えるイノシ
シの繁殖力の前に、被害額の減
少には至っていないばかりか、
民家の庭先に現れるなど、住民
の日常生活すら大きく脅かし
ており、捕獲数が繁殖数に到底
追いついていない状況にある。
よって、県に対し、イノシシ

個体数のさらなる削減、農産
物被害軽減及び人的被害防止
を実現するため、次の事項を
求めるものである。

1．宮城県鳥獣被害防止総合
支援事業交付金の増額につ
いて

年々増加するイノシシの個
体数に対し、捕獲数も大幅に
増加しているが、狩猟免許取
得者や箱わななどの数を増や
さなければ、効果的かつ切れ
目のない対策が困難である。

そのため、狩猟免許取得促
進、捕獲費用及び捕獲機材購
入費のための予算増額等の拡
充を求めるものである。

2．隣接自治体間及び各猟友
会等の有機的な広域連携の
制度化について

増大著しいイノシシの個体
数を削減するため、隣接自治
体間及び各猟友会等の広域連
携が大きな効果をもたらすと
考える。

そのため、自治体間の猟友
会が密な情報交換を行い、有
機的な連携を取ることができ
る制度の創設と必要な予算措
置を求めるものである。

予算審査特別委員会

第92号議案・平成28年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第96号議案・平成28年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)の計5議案について、定例会2日目(12月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐藤聡一、副委員長・松野久郎)は、12月8日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第6号)

民生費

〔質疑〕介護ロボットの導入について、その詳細を伺う。

〔答弁〕9月時点では3事業者であった。今回、国からの追加の内示を受け、1事業者で複数の事業所(グループホーム)が認められ、歩行アシストカーを導入するものである。

この歩行アシストカーは、内蔵するセンサーにより、流れの防止や、坂道で安全に歩行できるカーである。

〔質疑〕平成29年4月から南保育園で実施する一時預かり事業について、何人預かることを想定しているのか伺う。

〔答弁〕一時預かり事業は、1日平均6人を目標としており、保育室の面積要件等も考慮し、現時点では1日8人を最大の定員として行う予定である。

災害復旧費

〔質疑〕市道金成線は、配水管が詰まり、水があふれて道路が流出した。今後の災害が起きないための対策はどのようになるのか伺う。

〔答弁〕市道金成線は、今まで直径1メートルのコレクターパイプ管が埋設されていた。今回の災害査定において、流域面積等を計算し、縦横1.5メートルのボックスカルバートを埋設する。

排水の断面積が約3倍に増えるため、被災原因の除去は可能と考える。

〔質疑〕災害復旧に係る公有財産購入費の詳細を伺う。

〔答弁〕垂清川の河川災害に伴う土地購入費である。

今回、宅地が被災を受け、流水域がかなり移動した。災害復旧する場所は、被災者の所有敷地内で、面積は約1千500平方メートルとなり、護岸ブロックを設置する予定である。



架け替えとなる被災した市道三住線の大岩橋

〔質疑〕市道三住線大岩橋の復旧工事について、工事内容と完成時期を伺う。

〔答弁〕大岩橋の被災原因は、橋梁部分が流水によってふさがれ、水が河川の右岸側に集中したため、橋が流出・落橋したものである。

現在の大岩橋は、4橋脚の5径間であった。今回、最新の設計基準に基づき、全橋架け替えし、1径間で橋脚がない構造となる。

企業会計

工期については、早急な工事請負を発注したいと考えているが、下部工あるいは上部工の工事となるので、長い工事期間が必要である。事業が繰り越しとなる場合は、改めて手続きを取ることになると考える。

◎平成28年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)

〔質疑〕湯元簡易水道の給水区域拡張について、その詳細を伺う。

〔答弁〕湯元簡易水道で新たに給水可能となる区域は、明戸地区と小日向地区である。

加入金の状況については、各世帯が給水工事を行う際の手数料・加入金を見込んでおり、現時点で両地区から23戸の申請を受け付けている。

常任委員会

第86号議案から第91号議案の計6議案について、定例会2日目(12月7日)の本会議において質疑が行われた後、第86号議案・白石市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例及び第87号議案・白石市農業委員の任命において認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しないことについての2議案について、総務産業建設常任委員会に審査が付託され、12月9日に議案の審査が行われました。審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

総務産業建設常任委員会

委員長 山谷 清
副委員長 菅野 恭子
委員 保科善一郎・澁谷政義
大野栄光・四竈英夫
小川正人・佐藤聡一
志村新一郎

◎白石市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

〔質疑〕農業委員の定数を13名にした根拠は何か伺う。
また、本市の認定農業者等の現状は、どのようなになっているのか伺う。

〔答弁〕今回の法律改正に伴い、現在の17名より少なくしコンパクト化を図ることとし、定数を13名とした。

本市の現状は、認定農業者が72名で、農業委員17名のうち6名が認定農業者である。

〔質疑〕定数13名のうち1名を中立的立場から選出することだが、どのような中立的立場の方を登用するのか。
また、女性の積極的登用を図っているが、女性をどのようにして登用するのか伺う。

〔答弁〕中立的立場の方は、会社員・自治会長・教育者・弁護士・商工事業者・消費者団体など、農業とは関係のない方と考えている。

女性の登用については、各地域で説明会を開催する際、女性の該当者がいるかどうかも含めて情報を集めるとともに、直接または団体の方々に声をかけをして、推薦してもらう方法を考えている。

〔質疑〕規則で定める活動実績について、どのように確認するのか伺う。

〔答弁〕活動実績については、月報を毎月提出していただき、確認していくことになる。

〔質疑〕選考委員会の選考員を選ぶ基準や人数は、どのようなになっているのか伺う。

〔答弁〕庁内の関係部署の長を含めて3名から4名、外部の方を1名から2名で、5名から6名と考えている。市のホームページ等で選考結果は公表予定である。

外部からの選考員については、地域の自治会長にお願いしたいと考えている。

◎白石市農業委員の任命において認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しないことについて

〔質疑〕推進委員の定数14名のうち、何名くらいを認定農業者とするのか伺う。

〔答弁〕規則に定めるのであれば制限はないが、地域の現場で働くことになるため、説明会の際には、地域や農業の実情がわかる方を願う予定である。

〔質疑〕すでに実施している自治体では、推進委員が定数に満たないまま始まっている自治体もあるが、問題はいいのか伺う。

〔答弁〕欠員については規則で定めており、補充に努めることになっているので、状況によっては、再募集も想定している。

議会を傍聴してみませんか！

2月定例会は、2月23日(木)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。

●12月定例会の傍聴者数 57人 ●ライブ中継の合計視聴者数 816人

市政に 対する一般質問

〓〓11名の議員が質問〓〓

12月定例会の一般質問は、12月13日・14日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

四 竈 英 夫

市長の所信表明について

他

佐 藤 聡 一

白石市職員人事におけるキャリア選択希望制度について

他

松 野 久 郎

学校統合準備委員会と専門部会の開催状況と協議内容等について

他

澁 谷 政 義

市政の基本方針について

他

沼 倉 啓 介

市政運営について

他

管 野 恭 子

地域おこしのスペシャリスト「地域活性化伝道師」の活用について

他

菊 地 忠 久

農産物のブランド化について

他

伊 藤 勝 美

市長の市政運営について

他

佐 藤 秀 行

図書館機能の整備・充実等について

他

大 野 栄 光

本市の農業について

他

佐 藤 龍 彦

放射性汚染廃棄物の処理について

他

市長の所信表明について

四 竈 英 夫



〔質問〕現在、小中学校の統廃合が進められようとしている。一部に反対の声も上がっているが見解を伺う。

〔答弁〕【市長】首長や議会であっても、教育委員会が決めたことに政治的な圧力をかけることは許されない。教育委員会が決定したことを重く受け止めている。

行政として必要なことがあれば、市民の不安解消のため、教育委員会と連携し、一つ一つ解消していかねければならないと考える。

〔質問〕総合物産館となり得る道の駅整備について、将来的につくる考えはあるのか伺う。

〔答弁〕【市長】農産物をはじめ地場産品・工

業製品など、地元の商品を販売・展示し、多くの市民と観光客であふれる交流拠点、オー

ル白石の総合物産館となり得る道の駅の整備を目指し努力していきたいと考えている。

◎ササニシキの栽培再興について

〔質問〕食味日本一のササニシキの再興のため5名の農家が立ち上がったが、今年度の栽培面積はいくらか。今後、栽培面積を拡大する計画はあるのか。

また、栽培奨励のための支援措置はあるのか伺う。

〔答弁〕【市長】今年度の栽培面積は3.5ヘクタールで、平成29年度は5ヘクタールの予定と聞いている。

また、支援としては、地方創生加速化交付金と推進交付金を交付している。

◎通学路の安全対策について

〔質問〕通学路の安全対策と児童生徒への交通安全指導は、どのように行われているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】国や県、市の関係者で通学路等安全推進対策会議を設置し、通学路等交通安全プログラムを策定した。

定期的な通学路の合同点検と検証を行い、通学路の安全向上を図っている。

◎校内いじめや不登校について

〔質問〕本市では、いじめや不登校は少ないとのことであるが、その後の本市の状況について伺う。

〔答弁〕【教育長】今年度、小中学校で延べ21件で、本人・保護者に寄り添いながら、指導・経過観察を続けている。また、いじめ防止については、すべての学校でいじめ防止基本方針を定めて取り組んでいる。

白石市職員人事におけるキャリア 選択希望制度について

佐藤 聡一



〔質問〕行政サービス
を高い水準で効率的に
実施・継続していくた
めには、特定の行政分
野において、専門知識
と経験を持った職員の
育成が必要と考える。

本市では、キャリア
選択希望制度がすで
に実施されているが、現
在は税務分野に限ら
れている。

今後、ほかの分野へ
の適用も考えているの
かを伺う。

〔答弁〕【市長】行政に
求められる役割が多様
化・高度化する中で、
さまざまな分野におけ
るスペシャリスト育成
の必要性は感じている。
限られた職員の中で、
さまざまな業務を経験

すること、職員の多
面的な能力を開発する
ゼネラリスト育成との
バランスを図りながら、
必要に応じ、ほかの分
野への適応を検討して
いきたい。

◎防犯カメラの設置に
ついて

〔質問〕昨年、安全・
安心まちづくりICT
推進機構との間で「防
犯カメラを併設した自
動販売機の設置及び管
理に関する協定書」が
結ばれ、15台の防犯カ
メラが設置された。

今後、この防犯カメ
ラ設置拡大の予定や考
えがあるのかを伺う。

〔答弁〕【市長】本市の
公共施設に設置してい
る自動販売機は、今回
設置した防犯カメラの
対象自販機である。

新たに自販機を設置
する場合は、前向きに

防犯カメラの設置を
検討する。

また現在、この協定
を活用した防犯カメラ
設置を、商工会議所を
通じて市内の事業所へ
お願いしているところ
である。

◎観光振興策につ
いて

〔質問〕観光振興策と
して考えている方策・
方針を伺う。

〔答弁〕【市長】本市の
観光資源を発信するた
め、これまで年4回の
定例記者会見を毎月行
うとともに、さまざま
なメディアを通して内
外に情報を発信してい
く。

このほか、インバウ
ンド観光振興による地
方創生を目的とした、
県南4市9町をエリア
とする日本版DMO（観
光地域づくりを行う法
人）の設立に向けて動
いている。

学校統合準備委員会と専門部会の 開催状況と協議内容等について

松野 久郎



〔質問〕準備委員会と
専門部会について、こ
れまでの開催回数及び
協議内容と決定事項等
について伺う。

〔答弁〕【教育長】白石
第二小学校と斎川小学
校の統合については、
第1回準備委員会を6
月28日、専門部会を8
月26日にそれぞれ開催
し、ワークショップ方
式で課題の洗い出しを
行った。

その後、10月26日に
第2回専門部会を開催
し、第1回での課題等
について確認・調整等
を実施し、12月1日に
第3回の専門部会を開
催した。

中学校においては、
東中学校と白川中学校
の統合準備委員会を8
月19日に行い、第1回
専門部会を11月29日に

開催した。白石中学校
と南中学校については、
8月12日に統合準備委
員会を開き、12月8日
に第1回専門部会を開
催した。

協議内容については、
総務部会と教育環境部
会の2つの専門部会を
設置し、調査・検討を
行っている。

決定事項等について
は、専門部会で課題の
洗い出しを行っている
状況である。

〔質問〕協議内容を保
護者や地域の方にどの
ように伝えているのか
を伺う。

〔答弁〕【教育長】白石
第二小学校と斎川小学
校においては、10月に
第1回準備委員会だよ
りを発行し、閉校する
予定の地区に全戸配布
した。

また、市のホームペー
ジへの掲載については、

前向きに検討してい
きたい。

◎白石市情報センタ
ー（アテネ）の事業内
容について

〔質問〕オープンから
18年が経過し、ICT
（情報通信技術）社会
を迎えた中、今後の事
業内容について伺う。

〔答弁〕【市長】現在、
図書館の分館として、
絵本コーナーや読み聞
かせボランティアによ
る子どもの読書活動を
推進している。

また、DVDの貸し
出し、各種パソコン講
習会の開催、無料イン
ターネットコーナーの
設置、パソコン利用に
関する相談の受付等、
パソコン活用の知識
の普及を図っている。

当面は、これらを継
続し、今後さまざまな
角度から検討してい
きたい。

【その他の質問】

◎各公民館、指定管理
者施設の業務洗い出
し調査結果とその対
応について

市政の基本方針について

澁谷 政義



市長は、選挙戦においてさまざまな公約を掲げ市民に訴えられたが、実現に向けた施策の一端を伺う。

〔質問〕市長の政治家としての理念を伺う。

〔答弁〕【市長】難しい言葉は考えていないが、「市民の笑顔あふれる白石の創造」を目指していく。

〔質問〕鳥獣被害対策実施隊の強化について、その方策を伺う。

〔答弁〕【市長】資格取得の支援の強化、実施隊の技術向上を目的とした研修会を企画するなど、鳥獣被害対策を進めていきたい。

〔質問〕銃の所持許可取得にも補助を考えているのか伺う。

〔答弁〕【市長】先進地を研究しながら、今後どのような補助がさらにできるか検討していきたい。

〔質問〕農業について、競争力のある農産物の育成として、どのような農産物を育成するのか伺う。

〔答弁〕【市長】白石三白野菜の品質向上を図り、育成につなげていきたい。

〔質問〕新しい未来の地図、都市計画と道路について、市長の脳裏には、どのような「絵」が描かれているのか伺う。

〔答弁〕【市長】新たな都市計画・道路の策定が必要と考える。スマートインターチェンジを連動させることができるようであれば、新しい未来の地図が描けると考えている。

◎企業誘致について

〔質問〕過去の一般質問において、工業団地は、オーダーメイド方式か先行造成方式かが議論になったが、これを踏まえて、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】企業の引き合いの状況によっては、オーダーメイド方式に対応することとあわせて、土地造成を含めた事業用地を創出することも慎重に検討していきたい。

◎ドローン（小型無人飛行機）の導入について

〔質問〕ドローンは、今や災害・観光PR・農業振興などの分野での活躍が期待される。先進的に導入を図ってはいかがか、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】ドローンの活用は、大変有効な手段と認識している。利活用に関しては、管理体制を整備し、今後検討していきたい。

市政運営について

沼倉 啓介



〔質問〕現在進めている第5次白石市総合計画・地方創生総合戦略に、どのようなスタンスで向き合おうとされるのか伺う。

〔答弁〕【市長】第5次白石市総合計画に基づいて進めている既存事業を推進するため、白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた施策を一体として、人口減少対策という喫緊の課題に、明確に対応していく必要があると考えている。

本計画は、議会も認めている計画であり、これから外れるわけにはいかない。誰が首長であっても、しっかりとこの計画を進めてい

かなければならないと考える。

〔質問〕市民の安全安心の確保に不可欠な公立刈田総合病院も、なかなか明るい視野が見えてこない現状にある。病院の維持に不可欠な構成市町からの出資金・負担金・補助金について、構成市町の首長として、どのように向き合っていきたいと考えているのか、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】公立刈田総合病院は、市民の命と健康を守るために、どうしてもなくてはならない病院である。現在、医師不足が顕著であり、そのことを要因とするさまざまな課題があり、結果として赤字が出てしまった

場合、構成自治体の長として全力で支えていかなければならないと考えている。

〔質問〕財政手法について、無駄を省き、必要なものにはしっかりと予算をつけるとあるが、従来のかた過ぎるほどの手法で基金積立を優先されている手法に、一つ風穴をあける突破口がないのか伺う。

〔答弁〕【市長】平成28年度当初予算において、主要3基金の現在高は減っている。

基金の現状をしっかりと認識しながら、公約の実現をしていかなければならない。生きたお金の使い方をし、攻めるところは攻め、選択と集中に心がけ、今後の予算編成をしていきたいと考えている。

地域おこしのスペシャリスト「地域活性化伝道師」の活用について

管野 恭子



【質問】市長は、所信表明において「市民の笑顔あふれる白石」をつくり上げていきたい旨を述べているが、この実現には、各地区・地域の活性化が重要な一つと考える。

本市の各地域には、それぞれの歴史・文化・産物・景観など、多くの貴重な資源が存在する。これらをさまざまに活かして、その地域の活性化につなげていくことは、そこに住む方々の笑顔に連動していくものである。

内閣府に「地域活性化伝道師派遣事業」がある。この事業は、地域おこしのスペシャリストが、地域の活性化

ちづくりの専門家を講師とし、地域活性化に向けたワークショップを開催している。

に意欲的に取り組みをしようとする地域に対して、指導・助言を行うもので、さまざまな専門家がおり、平成28年4月1日で350名が登録されている。派遣に伴う費用は国負担で、多くの自治体・団体が利用している。

本市においても、活性化に意欲的に取り組みようとしている地域に対し、また、そのような地域を育てながら、この地域活性化伝道師を活用していく検討をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

【答弁】【市長】現在、各地域で地域おこし・地域活性化の取り組みを行っている。

小原・深谷地区においては、一般財団法人「地域活性化センター」の助成金を活用し、ま

また、上原自治会の協力により、楽しく農業を学ぶ「親子で田んぼワクワク講座」を開催し、先日、収穫祭が行われており、市民主体の地域おこしが活性化しつつある。

現在、国の支援などを受けながら、地域活性化・地方創生へ向けて、さまざまな取り組みを市民とともに着々と進めている。

地域活性化伝道師派遣事業についても、幅広い知見やノウハウを吸収できる有意義な事業の一つと考え、必要があれば招致を検討していきたいと考える。

【その他の質問】

◎季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象拡大について

◎土のうステーションの設置について

農産物のブランド化について

菊地 忠久



【質問】今年度、ササニシキ復活プロジェクトや白石三白野菜等の生産が行われた。

本市の農産物のブランド化について、その取り組み状況を伺う。

【答弁】【市長】生産する白石米や農産物の特産品の品質と、生産意欲の向上を図るため、宮城県大河原農業改良普及センターや各関係機関と連携した栽培講習会や、生産者の顔の見える農産物の販売活動、チラシ・パンフレットやホームページの活用により情報発信を行っている。

【質問】これらの取り組みは、国の地方創生交付金事業として認められた。ブランド化を

成し遂げるには、長い期間とお金がかかるものと理解している。

そこで、国の交付金事業が終了した場合、本事業はどのように考えているのか伺う。

【答弁】【市長】この事業は、稼働力を身につけた地域が、地域として自立・持続していくことを目指すものである。将来的には、支援を必要としない、しっかりと組織づくりと持続可能な安定経営に向けた自立を促していきたい。

この事業は初年度であり、長期的なものはその都度考えていく。

【質問】各地でブランド化が行われているが、どのように差別化を図り、推進していくのか伺う。

【答弁】【市長】明確なマーケティング、ブラ

ンディングが必要であるが、高品質を維持することが大前提である。

高品質な農産物の生産に努めながら、積極的にPRを行い、白石ブランドの確立を図っていききたい。

◎病児・病後児保育について

【質問】白石市子ども子育て支援計画では、平成30年度から病児・病後児保育事業を行う予定である。

そこで、現在の計画と今後の見通しについて伺う。

【答弁】【市長】現時点で、具体的な計画はないが、事業計画作成のため、病児・病後児保育に特化したニーズ調査を行い、実態に即したニーズの把握に努めていきたい。

基本的な方針としては、平成30年度からの実施に向けて準備を進めていきたいと考えている。

市長の市政運営について

伊藤 勝 美



〔質問〕市長選挙に関して、選挙結果の投票率、得票数についての見解を伺う。

〔答弁〕【市長】投票率は59・06%、得票数は9千807票であった。今後の市政運営に対する期待感のあらわれと受け止めている。

〔質問〕選挙戦で掲げた選挙公約に「刈田病院を核とした地域医療の充実に取り組む」とあるが、どのようなことなのか伺う。

〔答弁〕【市長】仙南医療圏において、刈田総合病院とみやぎ県南中核病院は、絶対に必要な病院である。

刈田病院が果たす役割を発展させ、白石市民のみならず、仙南地

域住民の安心確保と地域包括ケアの充実を図るため、関係する方々との話し合いを重ねながら取り組んでいきたい。

〔質問〕本市から刈田病院への出資金・負担金・補助金が年ごとに増額傾向になっているが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】市民の命を守るためには、必要な病院である。

刈田病院では現在、一生懸命にさまざまな改革を進めているが、赤字があつた場合には、全力で病院を支えなければならぬと考えている。

〔質問〕所信表明で、「現在の白石市には、大きな課題が多数山積している」とのことだが、具体的にどのようなことなのか伺う。

〔答弁〕【市長】地域医療の充実、安心安全な地域づくり、教育や子育て環境の充実、まちの賑わいの創出、農業振興など、数えあげればきりが無い。

その原因は、人口減少問題が非常に大きく、すべての市政課題につながっているものと考えている。

◎企業誘致について

〔質問〕企業誘致は、雇用や税収を確保し、将来にわたって安定的な市政運営を実現するためにも、市の重要施策の一つである。

そこで、どのような手法を考えているのか伺う。

〔答弁〕【市長】熱意が一番大事と考える。

そのため、さまざまな企業立地セミナーの活用や直接企業を訪問して、全力でトップセールスをかけていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎小学校のいじめ問題について

図書館機能の整備・充実等について

佐藤 秀 行



〔質問〕学習スペースを充実させた図書館を整備し、「市民が利用しやすい」ように図書館機能の充実を図るとしているが、今後どのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕【市長】図書館の耐震性は確保され、適切なメンテナンスを行っている。

蔵書していない本は、県内の図書館から借りることのできる「相互貸借制度」も有効に活用している。

将来の施設整備については、市が保有する他の施設との連携を図りながら検討する必要があると考える。

今後、多くの市民の声を聞きながら、図書

館の運営に生かしていきたいと考える。

◎「ブックスタート」事業の推進について

〔質問〕読書の習慣を幼いころから身に付けることが大切であると言われている。平成20年4月からブックスタート事業が開始され、親子のふれあい等を深める取り組みとして期待されている。

今後、より計画的に進めていくべきものであると考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】保護者の方々へブックスタート用の絵本をプレゼントし、図書館読み聞かせボランティアや図書館職員により読み聞かせを行っており、本事業は、今後とも継続していく。

また、事業の拡大については、絵本の贈呈の機会を増やしていく

ことが可能かどうかも含めて検討していく。

◎小中高生「司書講座」の開催について

〔質問〕子どもたちの自主的な読書活動を充実させるためにも、小中高生が、友だちや家族に対して読書のすばらしさを伝え、本と人との結びつきを手助けするリーダーとして活躍することが必要と考える。

本市においても、司書講座の開催などを小中高生を対象に、長期の休み等を活用して取り組んでみてはどうか伺う。

〔答弁〕【教育長】定期的な司書講座を実施していくかについては、学校と情報交換を行いながら、今後検討していきたい。

また、職場体験などで効果的に図書館の仕事等を学ぶことができるので、あわせて検討していきたいと考えている。

本市の農業について

大野 栄光



【質問】農業を守ることは、地域や環境を守り、市民が安心して生活を築くことへもつながる。高齢化が進む現状に、農業存続が危ぶまれるが、本市の水田農業をどのように考えているのか伺う。

【答弁】【市長】食味日本一の白石米復活プロジェクトへの支援を実施している。

こうした取り組みを通し、付加価値をつけた高収益な水田農業に取り組める環境をつくることで、魅力ある水田農業、担い手の育成につなげていければと考えている。

【質問】後継者不足は、安定して収入が得られないことも大きな要因

と考えられる。自力で資本投入し、経営を支えているが、利益も少なく、自助努力も限界である。多くの農地を預かり、地域環境を守る耕作者への補助策は考えないのか伺う。

【答弁】【市長】平成26年度から地域の担い手への農地利用集積を進めるため、各都道府県ごとに農地中間管理機構を創設し、新たな支援を実施している。

しかし、借り手への支援がない状況であり、今後、国や県に対し、借り手への支援についても働きかけていきたいと考えている。

【質問】集落営農の共同化を築けない地域では、国からの支援が個人的に受けられないこともある。

大型機械を更新する場合など、大変な利益を損なうことになる。市独自の農業施策として支援することはできないのか伺う。

【答弁】【市長】国の施策を活用しながら進めていき、今後そのような要望を国や県に伝えていきたい。

現在、市としては、独自の支援策は考えていない。

【質問】担い手不足に結婚問題があると考えられる。多くの独身者の婚活をどのように進めていくべきなのか。人口減少に陥る地域や集落が活性化されるには、家庭や家族が必要である。出会いの場づくりの施策等を伺う。

【答弁】【市長】民間団体と連携しながら、若者の異性と知り合うきっかけづくりと仲間づくりを通じて結婚へ、さらには結婚への応援を行っていることとしている。

放射性汚染廃棄物の処理について

佐藤 龍彦



宮城県は、1キログラム当たり8千ベクレル以下の汚染廃棄物を一般ごみとまぜて焼却し、生じた焼却灰を管理型最終処分場に埋め立てる方針を示した。

【質問】本市に保管されている汚染廃棄物は、どのようなものがあるのか伺う。

【答弁】【市長】農林系汚染廃棄物として、ほだ木が1千948トン、堆肥が1千327・6トン、合計3千275・6トンである。

【質問】焼却以外の方法は考えていないのか伺う。

【答弁】【市長】市町村が独自に選択し、処理可能とされる焼却以外の方法である堆肥化、

すき込み、林地還元については、処理時間が非常に長くなることや処理場所の確保など、多くの課題があり、現段階としては優先的に考える状況にはないと考える。

【質問】今後の対応について伺う。

【答弁】【市長】今後は、仙南2市7町の首長で話し合い、次回の市町村長会議へ統一した方針を決定し臨みたいと考えている。

◎子ども医療費助成の拡充について

最近、子育て世代において、経済的に苦しくなっているという声が聞こえている。

こうした状況を受け、現在、多くの自治体において、子育て世帯の負担軽減のために、子ども医療費助成の拡充の動きが進んでいる。

宮城県も平成29年度から通院費の補助対象を、現在の3歳未満から就学前までの引き上げを実施するという方針を示した。

【質問】子ども医療費助成を高校卒業まで拡充した場合の試算を伺う。

【答弁】【市長】高校生の医療費を中学生と同等と仮定すると、入院・通院あわせて1千523万3千円となる。

【質問】子ども医療費の助成拡充を考えられないのか伺う。

【答弁】【市長】非常に大きな予算を必要とすることから、中学校3年生までというのは、1つの大きな区切りと考えており、現在のところ、高校卒業までの拡充は考えていない。子育て支援の中で、屋内遊び場整備やICT教育の環境に予算を充当していきたいと考えている。

臨時会

第422回市議会臨時会は、平成28年10月23日に行われた市長選挙及び市議会議員補欠選挙後の平成28年11月28日に開かれました。

今回の臨時会では、最初に欠員となっていた委員会等の補欠委員を選出しました。

その後、市長提出議案8件の審議を行い、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

議会の構成

それぞれの委員会等の構成は次のとおりです。

厚生文教常任委員会 (9名)

議長より補欠委員に菊地忠久委員が指名されました。

その後、正副委員長の内選が行われ、松野久副委員長

が委員長に、佐藤秀行委員が副委員長にそれぞれ選出されました。

委員長	松野久
副委員長	佐藤秀行
委員	佐藤龍彦
委員	伊藤勝美
委員	沼倉啓介
委員	平間知一
委員	佐久間儀郎
委員	大町栄信
委員	菊地忠久

議会広報委員会 (9名)

議長より補欠委員に菊地忠久委員が指名されました。

委員長	菅野恭子
副委員長	佐藤聡一
委員	佐藤龍彦
委員	保科善一郎
委員	大町栄信
委員	四ノ宮英夫
委員	菊地忠久
委員	佐藤秀行
委員	松野久

政策企画調整会議 (8名)

議長より補欠委員に澁谷政義委員が指名されました。

委員長	山谷清
副委員長	佐藤秀行
委員	佐藤龍彦
委員	保科善一郎
委員	澁谷政義
委員	菅野恭子
委員	松野久
委員	志村新一郎

議会改革推進会議 (8名以内)

議長より補欠委員に四ノ宮英夫委員が指名されました。

委員長	小川正人
副委員長	菅野恭子
委員	伊藤勝美
委員	澁谷政義
委員	大野栄光
委員	四ノ宮英夫
委員	佐藤聡一
委員	佐藤秀行

条例

◎白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◎白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎白石市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

この3条例は、人事院勧告に基づく国の法律改正に準拠し、条例で定める市議会議員及び市長・副市長・教育長の12月期の期末手当の引き上げについて、条例の一部を改正するものです。

◎白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく国家公務員の給与制度改定に準じて、条例で定める職員の給与及び12月期の期末手当の引き上げについて、条例の一部を改正するものです。

◎白石市少人数学級編制の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

◎白石市学校統廃合に伴う任期付教職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

この2条例は、宮城県人事委員会勧告に準じて、条例で定める任期付教職員の給与の引き上げについて、条例の一部を改正するものです。

予算

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第5号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1千400万円を追加し、予算総額を17億8千841万3千円とするものです。

◎平成28年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ43万5千円を追加し、予算総額を4億7千998万6千円とするものです。

第3回市民と議会の意見交換会を開催します！

白石市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指していくため、第3回目の意見交換会を下記の日程で開催します。

この意見交換会は、議員18名が6名ずつ3班に分かれて、市内の各地区公民館に出向いて行うもので、市民の皆さまに議会活動を広く知っていただくとともに、市政や議会活動に対する貴重なご意見やご提言をお聞かせいただくために開催するものです。

皆さまのご参加をお待ちしています。

【開催日時】

平成 29 年 3 月 22 日(水)～ 24 日(金)

午後 7 時～午後 8 時 30 分

※各会場での受付開始は、午後 6 時 15 分からです。

※申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

【開催内容】

- ①議会報告 ・平成29年度当初予算について
・前回の意見交換会の意見等について

- ②市民との意見交換

【班編制と会場】

	3月22日(水)	3月23日(木)	3月24日(金)
1 班			
班 長 大野 栄光 (総務産建)	小原公民館 (集会室)	福岡公民館 (第1・2講座室)	深谷公民館 (講座室)
副班長 菊地 忠久 (厚生文教)			
班 員 蒔谷 政義 (総務産建)			
班 員 佐久間儀郎 (厚生文教)			
班 員 小川 正人 (総務産建)			
班 員 松野 久郎 (厚生文教)			
2 班			
班 長 山谷 清 (総務産建)	越河公民館 (講座室)	中央公民館 (第1・2講座室)	大平公民館 (集会室)
副班長 四竈 英夫 (総務産建)			
班 員 佐藤 龍彦 (厚生文教)			
班 員 保科善一郎 (総務産建)			
班 員 伊藤 勝美 (厚生文教)			
班 員 佐藤 秀行 (厚生文教)			
3 班			
班 長 沼倉 啓介 (厚生文教)	斎川公民館 (講座室)	大鷹沢公民館 (集会室)	白川公民館 (講座室)
副班長 大町 栄信 (厚生文教)			
班 員 平間 知一 (厚生文教)			
班 員 管野 恭子 (総務産建)			
班 員 佐藤 聡一 (総務産建)			
班 員 志村新一郎 (総務産建)			

注：(総務産建)＝総務産業建設常任委員会、(厚生文教)＝厚生文教常任委員会

議会広報委員会 委員
委員長 管野 恭子
副委員長 佐藤 聡一
委員 佐藤 龍彦
委員 保科善一郎
委員 大町 栄信
委員 四竈 英夫
委員 菊地 忠久
委員 佐藤 秀行
委員 松野 久郎

市民の皆さま方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も、3月には第3回目となる「市民と議会の意見交換会」を予定しております。

市民の皆さまに議会を身近に感じていただくとともに、皆さまの声を今後の市政発展に活かしてまいりたいと考えております。

また、新市長が掲げる「市民の笑顔あふれる白石」が着実に実現されるように、議会としても積極的に関わってきたいと思っております。

結びに、本年がすばらしい一年となりますようお祈り申し上げ、新年にあたってのあいさつとさせていただきます。

議会広報委員会
佐藤 秀行

編集後記